

こどもとつながる おとなが いっぱいよ 作ってみませんか?

こども食堂や学習支援など、困っている子どもたちを支えようとする、市民による取り組みが全国的にたくさん展開されるようになってきました。

旭川市内で私たちは、「食事を十分に摂れない」「塾に通えない」等、様々な理由で「食べる」と「学ぶ」ことに困難を抱えている子どもたちとたくさん出会ってきました。そして、何とか手を差し伸べたい!と思ったおとなたちが手を取り合い、こども食堂や学習支援が少しずつ実践され、広がるようになっていきました。

けれど、私たちはこうした取り組みの中でもちょっとしたモヤモヤを感じています。食事をしたり勉強をする環境を作ってあげればそれで子どもたちはいいのだろうか、と。

例えば、こども食堂では子どもたちの元気な姿をいつも目にします。けれど、元気な姿を見せてくれたのは、おいしいごはんを作ったり食べたりできるからではありません。そこに来たおとなたちと話したりふざけあったりなど、子どもたちの言葉にならない思いをしっかりと受け止めてくれるおとなと一緒にいるから、子どもたちは素敵な笑顔を見せてくれているように思います。

子どもたちが私たちに求めているのは、食事や勉強を通して、私たちおとなと話したり遊んだり一緒に考えたりするきっかけやおとなたちとの出会いやつながることなのかもしれません。

今回は北海道内で素敵な取り組みをしているきっかけいいおとな3人の方を今回はお招きすることができました。3人のお話を手がかりに、私たちおとなと子どもたちがつながる意味について一緒に考えてみませんか?

タイムスケジュール

司会：今井一貴
(NPO法人ワークスコープ旭川事務所長)

13:00 開場、受付開始

13:30 開始、趣旨説明

第1部 3人のお話

13:50 トーク1 青塚 美幸 さん

14:10 トーク2 高橋 勇造 さん

14:40 トーク3 小林 真弓 さん

15:10 休憩

第2部 ワークショップ

15:20 説明

15:25 ワールドカフェ開始

16:40 ワールドカフェ終了

3人による振り返り

17:00 終了

青塚 美幸 さん (旭川市)
旭川市北門児童センター館長
旭川初のこども食堂について、実施の経緯や実施した後の子どもたちの様子についてお話いただきます。

高橋 勇造 さん (札幌市)
NPO法人Kacotam 理事長
札幌市内の児童養護施設の子子どもたちや経済的に困難を向き合っている子どもへの学習支援を通し、様々な子どもたちと関わっています。学習支援に取り組もうと思ったきっかけから、現在の実践の広まりについてお話いただきます。

小林 真弓 さん (札幌市)
任意団体 ねっこぼっこのいえ 代表
札幌市内で地域子育て支援拠点、札幌市指定常設子育てサロンを運営する中で、地域の赤ちゃんからお年寄り、多くの若者もたまり場のように、集まってきています。あらゆる世代の人達の居場所とは何か、これまでの実践を元にお話いただきます。

ワールドカフェとは

ワールドカフェとは、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

3人のお話を手がかりに、質問や疑問を共有し、私たちができることを一緒にコーヒーを片手に、言葉にしながら考えてみませんか?

清水 冬樹 (旭川市)
旭川大学短期大学部幼児教育学科 准教授
子どもの権利を基盤として、困難を抱える子どもたちと社会福祉支援をつなぐ際のおとなの説明責任を子どもたちの視点から研究しています。今回は2部のファシリテーターとして参画します。